愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	論理国語	２	２	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
精選　論理国語（数研出版）	入試頻出国語＋現代文重要語 TOP2500（いいずな書店） 新成現代文（尚文出版） 評論速読トレーニング 1000（数研出版） 最新国語便覧（浜島書店） シグマベスト日本文学史要点チェックノート（文英堂）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
	思	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
	体	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
学ぶということ 具体と抽象	筆者の考えを根拠とともに読み取ろう。 抽象的な表現の内容を踏まえて、筆者の考えに対する自分の考えをまとめられるようにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	４月～５月
具体と抽象 表現	哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解し、語彙力を豊かにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	６月～７月
普遍的な言葉 近代と現代の視点	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考えて紹介できるようにしよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	７月～９月
近代と現代の視点	二つの文章の共通点と相違点を読み取れるようになろう。 筆者の意見を読み取ったうえで、実社会の課題に対する自分の意見を書けるようになろう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	１０月～１１月

近代と現代の視点 表現	文章を読んで関心を持った事柄について課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめてわかりやすい報告を作ろう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	１２月～３月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価＋定期考査評価）	40 ％程度	40 ％程度	20 ％程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	たくさんの文章を読み、語彙力をつける１年にしましょう。 また、文章やグラフの読み取りから現状に対する課題意識を持ちましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	古典探究	２	２	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
古典探究（第一学習社）	新訂版最新国語便覧(浜島書店) 体系古典文法（数研出版） 古典文法要点整理ノート（数研出版） 精選漢文（尚文出版）、読み解く古典２（浜島書店） みるみる覚える古文単語３００＋敬語３０三訂版（いいずな書店）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	体	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
説話	古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解しよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	４月～５月
物語 故事・寓話	現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解しよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	６月～７月
物語 随筆	敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	７月～９月
日記文学 項羽と劉邦	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解しよう。漢文の句法を覚えよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	１０月～１１月

物語 諸家の思想	思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	12月～3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価＋定期考査評価）	40 ％ 程度	40 ％ 程度	20 ％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	古文の敬語表現や漢文の句法を覚えよう。 古典文法は主に１年生で習ったものです。今のうちに復習しておきましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
公民	公共	2	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新版　公共(数研出版)	新版　公共整理ノート(数研出版)

学習目標	社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え、対話を通じて合意形成を目指し、公共的存在としての能力を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	思	現代の諸課題について,事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり,解決に向けて公正に判断したり,合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
	体	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
第１章 公共的な空間をつくる私たち	・先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付きながら学んでみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	4月～5月
第２章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択･判断の手掛かりが考察してみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	5月～7月
第３章 公共的な空間における基本原理	・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ, その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察してみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	9月
第４章 現代の民主政治と政治参加の意義	・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付いてみよう。 ・各党の綱領を調べ，その政策を知ってみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	10月～11月

第５章 現代の経済社会と経済活動のあり方	・需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察してみよう。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断してみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	１２月～１月
第６章 国際社会の動向と日本の役割	・円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考えてみよう。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できるようにしよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	２月
持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・現代社会の諸問題の解決のために，事実を基に協働して考察，構想してみよう。	・ワークシート ・授業態度 ・定期考査	３月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価＋定期考査評価）	４７　％ 程度	２０　％ 程度	３３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	主体的に授業に参加し,社会的事象に対して多面的・多角的な見方・考え方を身に付けていきましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学Ⅱ	３	２	B

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新編　数学Ⅱ（数研出版）	新編　数学Ⅱ　ナビゲーションノート（数研出版） ３TRIAL　数学Ⅱ＋B（数研出版） チャート式解法と演習数学Ⅱ＋B（数研出版）

学習目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解し，基礎的な知識を習得し，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようになるとともに，それらを活用する態度を身に付ける。

評価の観点及びその趣旨	知	いろいろな式や関数，微分・積分の考えについての基本的な概念を理解するとともに，数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
	思	方程式を用いて図形の性質を論理的に考察する力，関数関係や関数の局所的な変化に着目して事象を数学的に考察する力，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を身に付ける。
	体	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
第１章 式と証明	①公式を用いて，基本的な問題を解けるようにしよう。 ②証明の基本的な方法を活用しよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	４～５月
第２章 複素数と方程式	①公式を用いて，基本的な問題を解けるようにしよう。 ②高次方程式の解き方を理解しよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	５～６月
第３章 図形と方程式	①公式を用いて，基本的な問題を解けるようにしよう。 ②方程式と図形のつながりを理解しよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	６～１０月
第４章 三角関数	①公式を用いて，基本的な問題を解けるようにしよう。 ②三角方程式・不等式を解けるようにしよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	１０～１１月

第５章 指数関数と対数関数	①公式を用いて,基本的な問題を解けるようにしよう。 ②指数関数・対数関数の考え方を理解しよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	１１～ １２月
第６章 微分法と積分法	①公式を用いて,基本的な問題を解けるようにしよう。 ②微分・積分の考え方を理解し，活用しよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	１２～ ３月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	４６　％ 程度	３１　％ 程度	２３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末，２学期末，学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	公式も計算量も多いですが，ひとつずつおさえて，理解した上で解けるようにしていきましょう。繰り返しの学習も大切にしていきましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学Ｂ	１	２	Ｂ

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新編　数学Ｂ（数研出版）	新編　数学Ｂ　ナビゲーションノート（数研出版） ３TRIAL　数学Ⅱ＋B（数研出版） チャート式解法と演習数学Ⅱ＋B（数研出版）

学習目標	数列について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，活用できるようにする。

評価の観点及びその趣旨	知	数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
	思	離散的な変化の規則性に着目し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付ける。
	体	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする力，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする力を身に付ける。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
第１章 数列	①数列に関する用語,記号を適切に用いることができるようにしよう。 ②等差数列の一般項などを理解しよう。 ③等差数列の和が求められるようにしよう。 ④等比数列の一般項などを理解しよう。 ⑤等比数列の和が求められるようにしよう。 ⑥いろいろな数列の性質を理解しよう。 ⑦漸化式の性質を理解し,一般項を求められるようにしよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 課題・実力テスト	12 ～ ３月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価＋定期考査評価）	４６　％ 程度	３１　％ 程度	２３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末，２学期末，学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	様々な種類の数列が登場し，公式が多いですが，理解に努めて，問題を解けるようにしていきましょう。繰り返しの学習も大切にしていきましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学Ｃ	２	２	Ｂ

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
新編　数学Ｃ（数研出版）	新編　数学Ｃ　ナビゲーションノート（数研出版） ３TRIAL　数学Ｃ（数研出版） チャート式解法と演習数学Ｃ（数研出版）

学習目標	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，活用できるようにする。

評価の観点及びその趣旨	知	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
	思	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
	体	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返ったり，評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
第１章 平面上のベクトル	①ベクトルの基本的な性質を理解しよう。 ②ベクトルの内積の定義を理解し，内積を求めることができるようにしよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	４月 ～ ６月
第２章 空間のベクトル	①空間のベクトルの演算ができるようにしよう。 ②空間のベクトルの内積やなす角を求めることができるようにしよう。	定期考査 ３TRIAL ノート チャートプリント 振り返りテスト 課題・実力テスト	６月 ～ ９月
第３章 複素数平面	①複素数平面を用いて複素数を図形的に考察できるようにしよう。 ②複素数の様々な性質を理解し，活用できるようにしよう。	定期考査 ３TRIAL ノート 振り返りテスト	９月 ～ 10 月
第４章 式と曲線	①曲線の特徴を理解し，表せるようにしよう。 ②極座標による表示を理解し，活用できるようにしよう。	定期考査 ３TRIAL ノート 振り返りテスト	10 月 ～ 12 月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	４６　％ 程度	３１　％ 程度	２３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末，２学期末，学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	初めて触れる概念も多いですが，本質の理解に努めて，問題を解けるようにしていきましょう。繰り返しの学習も大切にしていきましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	物理基礎	2	2	B

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
高等学校　物理基礎（第一学習社）	新編アクセス　総合物理（浜島書店）、 新課程 フォローアップドリル物理基礎　実験データの分析（数研出版）

学習目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	思	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	体	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
(1)物体の運動とエネルギー (ｱ)運動の表し方	運動の表し方では，観察，実験の技能を身に付け，①物理量の測定と扱い方について，②直線運動の加速度についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	４月上旬 ～ ５月中旬
(ｲ)様々な力とその働き	様々な力とその働きでは，観察，実験の技能を身に付け，①様々な力について，②力のつり合いについて，③運動の法則について，④物体の落下運動についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	５月下旬 ～ ６月下旬
(ｳ)力学的エネルギー	力学的エネルギーでは，観察，実験の技能を身に付け，①運動エネルギーと位置エネルギーについて，②力学的エネルギーの保存についての原理･法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	７月上旬 ～ ９月上旬

(2)様々な物理現象とエネルギーの利用 (ｱ)波	波では，観察，実験の技能を身に付け，①波の性質について，②音と振動についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	９月中旬 ～ ９月下旬
(ｲ)熱	熱では，観察，実験の技能を身に付け，①熱と温度について，②熱の利用についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	９月上旬
(ｳ)電気	電気では，観察，実験の技能を身に付け，①物質と電気抵抗について，②電気の利用についての原理・法則をマスターしよう。	・課題 ・レポート	１０月上旬
(ｴ)エネルギーとその利用	エネルギーとその利用では，観察，実験の技能を身に付け，①エネルギーとその利用についての原理・法則をマスターしよう。	・課題 ・レポート	１０月上旬
(ｵ)物理学が拓く世界	物理学が拓く世界では，観察，実験の技能を身に付け，①物理学が拓く世界についての原理・法則をマスターしよう。	・レポート	１０月上旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	３６　％ 程度	２８　％ 程度	３６　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	物理基礎で扱う現象を日常生活に当てはめ，運動をしっかりとイメージしながら，原理・法則を使って問題に取り組もう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	物理	2	2	B

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
高等学校　物理（第一学習社）	新編アクセス　総合物理（浜島書店）

学習目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。
	思	物理的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	体	物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
(1)様々な運動 (ｱ)平面内の運動と剛体のつり合い	平面内の運動と剛体のつり合いでは，観察，実験の技能を身に付け，①曲線運動の速度と加速度について，②放物運動について，③剛体のつり合いについての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	１０月中旬 ～ １１月上旬
(ｲ)運動量	運動量では，観察，実験の技能を身に付け，①運動量と力積について，②運動量の保存について，③衝突と力学的エネルギーについての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	１１月中旬 ～ １２月上旬
(ｳ)円運動と単振動	円運動と単振動では，観察，実験の技能を身に付け，①円運動について，②単振動についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	１２月中旬 ～ １月中旬
(ｴ)万有引力	万有引力では，観察，実験の技能を身に付け，①惑星の運動について，②万有引力についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	１月下旬 ～ ２月上旬
(ｵ)気体分子の運動	気体分子の運動では，観察，実験の技能を身に付けるとともに，①気体分子の運動と圧力について，②気体の内部エネルギーについて，③気体の状態変化についての原理・法則をマスターしよう。	・中テスト ・課題 ・レポート	２月中旬 ～ ３月中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	４３　％ 程度	３１　％ 程度	２６　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	物理で扱う現象を日常生活に当てはめ，運動をしっかりとイメージしながら，原理・法則を使って問題に取り組もう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	化学	2	2	B

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
化学　Vol.1　理論編（東京書籍）	新課程　ニューアチーブ化学（東京書籍） 大学入学共通テスト対策問題集　化学（実教出版）

学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。
	思	化学的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	体	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
1編　物質の状態 1章　物質の状態	「融点」「沸点」「圧力」などの値と、「粒子の熱運動」と「粒子間の引力」と関係を説明できるようになろう。ミクロの変化がマクロの変化に結びつくことを説明できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	4月上旬～4月下旬
2章　気体の性質	気体には「圧力」「体積」「物質量」「温度」の４つのパラメータがあります。それらを用いて、「ボイル・シャルルの法則」「気体の状態方程式」などの計算ができるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	5月上旬～5月下旬
3章　溶液の性質	「固体の溶解度」「気体の溶解度（ヘンリーの法則）」「沸点上昇」「凝固点降下」「浸透圧（ファントホッフの法則）」などの計算ができるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	6月上旬～6月中旬
4章　固体の構造	結晶の単位格子から「単位格子中の粒子数」「配位数」「充填率」「単位格子の一片の長さと原子半径の関係」「密度」を数えられる・計算できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	6月下旬～7月上旬

2編　化学反応とエネルギー 1章　化学反応と熱・光	化学反応の「反応エンタルピー」を表現できるようになろう。「エネルギー図」の見方を身につけよう。「ヘスの法則」から、様々な反応エンタルピーを計算できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート ・実力テスト	7月 中旬 ～ 9月 下旬
2章　電池と電気分解	化学基礎で学んだ酸化還元反応を思い出そう。電池と電気分解の各電極における反応を、電子 e^-を用いて表せるようになろう。ファラデー定数を用いて、電池と電気分解の量的関係を計算できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	10月 上旬 ～ 10月 下旬
3編　化学反応の速さと平衡 1章　化学反応の速さ	反応速度を変える条件を説明できるようになろう。反応速度を計算できるようになろう。触媒の働きを、エネルギーの観点から説明できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	11月 上旬 ～ 11月 中旬
2章　化学平衡	「平衡定数」の式を、化学反応式から表せるようになろう。「ルシャトリエの原理」を踏まえて、濃度・圧力・温度を変えた時の平衡移動の方向を判断できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート	11月 下旬 ～ 12月 下旬
3章　水溶液中の化学平衡	「電離定数」「電離度」「$[H^+]$」「pH」などを計算できるようになろう。「塩の加水分解」とpH の関係を、電離平衡から説明できるようになろう。「溶解度積」を踏まえて、沈殿が生じるか判断できるようになろう。	・小テスト ・課題 ・レポート ・実力テスト	1月 上旬 ～ 3月 上旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	４５　％ 程度	３５　％ 程度	２０　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	化学で学ぶ内容は「(1)覚えるところ」と「(2)計算のやり方を会得するところ」と「(3)概念を理解し活用するところ」の大きく３つに分けられます。 (1)覚えるところは、うまく整理し、点と点の知識を紐づけて線にし、網目状にできるとよいです。 (2)計算は、まずは算数・数学の計算をマスターしよう（特に分数、比・割合、指数、対数）。そして教科書や問題集の問題を自力で解けるように繰り返し取り組もう。 (3)概念の理解・活用は、人に説明してみましょう。相手が理解してくれたなら、あなた自身は概念を十分に理解し、活用できるレベルに達しています。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	生物基礎	2	2	B

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
高等学校　生物基礎　（数研出版）	ニューステージ生物図表(浜島書店) リードα生物基礎＋生物(数研出版)

学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	思	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	体	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
(１)生物の特徴 (ア)生物の特徴 (イ)遺伝子とその働き	家族が似ているのはなぜでしょうか。知っているようで知らない仕組みを謎解いていきましょう。	小テスト 課題 レポート 定期考査	４ 月 ５月
(２)ヒトの体の調節 (ア)神経系と内分泌系による調節 (イ)免疫	病気になるとはどういうことでしょうか。日々働いている皆さんの体の秘密を紐解いていきましょう。	小テスト 課題 レポート 定期考査	６月 ７月
(３)生物の多様性と生態系 (ア)植生と遷移 (イ)生態系とその保全	樹木と草、果実と野菜の違いを説明できますか。一人では生きていけないこの世界の魅力を発見しましょう。	小テスト 課題 レポート 定期考査	９月 10月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	４６　％ 程度	３１　％ 程度	２３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	生物基礎を学ぶ意義は自分を大事にするためです。自分の具合が悪いことに気付くためには通常の体の状態を知っておかなければなりません。病院へ行ったとき、薬や治療の意味を理解するには体の仕組みを知っておかなければなりません。つらいトレーニングに耐えて最高のパフォーマンスをするためには体内での化学反応を理解しておかなければ前向きに取り組めません。「生きるため」の科目です。ぜひ、前向きに学んでください。

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	生物	2	2	B

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
生物（数研出版）	ニューステージ生物図表（浜島書店） リードα生物基礎＋生物（数研出版）

学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	思	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	体	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
(１)生物の進化 (ア)生命の起源と細胞の進化 (イ)遺伝子の変化と進化の仕組み (ウ)生物の系統と進化	ヒトはどこから来たのか。皆さんは進化の最前線にいます。ヒトがヒトらしくあるために、生物学の視点からその秘密に迫ります。	小テスト 課題 レポート 定期考査	10 月 11 月
(２)生命現象と物質 (ア)細胞と分子 (イ)代謝	勝負の日にベストパフォーマンスを引き出すには代謝の仕組みをうまく利用することが必要不可欠です。	小テスト 課題 レポート 定期考査	12 月 1 月
(３)遺伝情報の発現と発生 (ア)遺伝情報とその発現	遺伝情報を活用するためには仕組みを正しく理解することが必要です。生物のたくましさを知ることができるでしょう。	小テスト 課題 レポート 定期考査	2 月 3 月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	４６　％ 程度	３１　％ 程度	２３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	好きな分野だけでなく、あまり好きではない内容でも取り組んでみましょう。新しい出会いがあるはずです。自分の体を守るために必要な勉強です。頑張りましょう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
保健体育	体育	3	2	全

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	技	運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。
	思	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	体	活動に自主的かつ公正に取り組み、一人一人の違いを大切にし、互いに助け合い教え合おうとしている。健康・安全を確保しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
体つくり運動 ・体ほぐし運動 ・持久走	(1)手軽な運動の実践を通して、心身の状態に気づき、仲間と積極的に関わろう。 (2)ねらいに応じて運動の計画を立て、体力を向上させよう。	・観察 ・ワークシート	4月 11月
器械運動 ・マット運動	(1)技ができる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技で演技できるようになろう。 (2)仲間と教え合い課題を解決しよう。 (3)挑戦心を大事に自主的に取り組もう。安全の確保を意識しよう。	・観察 ・発表 ・ワークシート	6月 7月 (Ⅱ)
陸上競技 ・走・跳・投	(1)効率的な動きを身に付け、スピードや距離を向上させよう。 (2)仲間と課題を発見し、合理的な解決を目指そう。 (3)一人一人の課題を尊重し、自主的に活動に取り組もう。安全の確保を意識しよう。	・観察 ・計測 ・ワークシート	6月 7月 (Ⅱ)

球技 ・ゴール型 （サッカー、ハンドボール、バスケットボール） ・ネット型 （バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型 （ソフトボール）	(1)勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開しよう。 ※(ゴール型)安定したボール操作を身に付け、空間を効果的に使い攻防しよう。 (ネット型)安定したボール操作、ラケット操作を身につけ、連携した動きで空いた場所をめぐる攻防をしよう。 (ベースボール型)安定したバット操作と走塁と安定したグラブ・ボール操作による守備で攻防を展開しよう。 (2)自己やチームの課題を発見し解決に繋げよう。気づいたことは言葉にして相手に伝えよう。 (3)フェアプレイを大切にし、作戦等の話し合いに積極的に関わり、自主的な活動を目指そう。互いに教え合うことや、安全の確保を意識しよう。	・観察 ・ゲーム ・スキルテスト ・ワークシート	４月 ５月 （Ⅰ） ９月 10月 （Ⅲ） 12月 ～ ３月 （Ⅳ）
ダンス ・創作ダンス	(1)表現したいテーマのイメージを捉えて、緩急強弱のある動きや空間の使い方を工夫して作品を完成させよう。 (2)グループの話し合いで表現方法を改善し、よい良い作品にしていこう。 (3)それぞれの役割をよく考え、自主的に活動に取り組もう。	・観察 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	６月 ７月 （Ⅱ）
体育理論	(1)興味関心のあるスポーツの様々な側面について多面的に深め、知識を身に付けよう。 (2)身に付けた知識に対して考察を深め、自分の言葉で表現しよう。 (3)スポーツの理論的学習に自主的に取り組もう。	・観察 ・レポート ・発表 ・ワークシート	11月

年間評価	知・技	思	体
観点別評価割合 ≪授業内評価≫	４０　％ 程度	３０　％ 程度	３０　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	活動に意欲的に取り組み、技能の向上や勝敗を競う楽しさを味わおう。 仲間と協力し、より良い活動を自主的に作り上げよう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
保健体育	保健	1	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
現代高等保健体育（大修館書店）	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)　個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)　健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)　生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
	思	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
	体	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
・生涯の各段階における健康	生涯を通じる健康の保持増進や回復のために、生涯の各段階における健康課題を理解しよう。健康課題の解決のためには、自己管理や環境が関わっていることを理解しよう。	・単元テスト ・ノート(ワークシート、レポート) ・グループワーク ・発表 ・観察	4月 5月 6月
・労働と健康	労働形態の変化やそれに伴う健康課題やその要因について理解しよう。健康的な職業生活を送るために、余暇をどのように活用すべきか考えよう。		7月 9月
・環境と健康	人間の生活や産業活動が環境に悪影響を及ぼす可能性があることを理解しよう。環境保全のために、社会や個人がやるべきことを考え、説明できるようにしよう。		10月 11月
・食品と健康	食中毒や食物アレルギーなど、健康の保持増進には食品の安全性が重要であることを理解しよう。食品の安全性を確保するための仕組みを理解しよう。		11月 12月

・保健・医療制度及び 地域の保健・医療機関	保健サービスの内容や、医療保険の仕組みを理解し、有効に活用ができる知識を身に付けよう。医薬品の正しい使用方法を理解し、実生活に活用できるようにしよう。	・単元テスト ・ノート(ワークシート、レポート) ・グループワーク ・発表 ・観察	1月 2月
・様々な保健活動や 社会対策	私たちの健康課題のために、行政機関による社会的対策を理解しよう。国際機関や民間機関などの活動について説明できるようにしよう。		2月
・健康に関する環境づくりと社会参加	ヘルスプロモーションの考え方を理解し、健康の保持増進のための環境づくりに参加することが重要であることを理解しよう。健康情報の正しい活用の仕方を考えてみよう。		3月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 ≪授業内評価≫	４０　％ 程度	３０　％ 程度	３０　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	生涯を通じる健康について正しい知識を身に付け、 自分の考えを言葉で表現できるようになろう。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	英語コミュニケーションⅡ	３	２	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)	LANDMARK Fit English Communication II　ワークブック(啓林館) Scramble Basic(旺文社)

学習目標	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備など、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

評価の観点及びその趣旨	知	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。
	思	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題についての情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
	体	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
Lesson 1 「A Swedish Girl's Discoveries in Japan」 Lesson 2 「A Message from Emperor Penguins」	・既習の文法を用いて、話し方や発音を意識して英語を用いる。 ・不定詞や動名詞、現在完了形の意味や構造を理解し、文章から必要な情報を読み取る。 ・文章に沿ったテーマについて考えをまとめ、ペアで伝え合う。	定期考査 課題 小テスト パフォーマンステスト	４月 ～ ５月 中旬
Lesson 3 「Tokyo's Seven-minute Miracle」	・分詞や形式目的語の意味や構造を理解し、本文の内容を理解する。 ・外国出身の人に紹介したい日本の文化について文章にまとめ、伝える。 ・日本の文化について調べ、適切な英語表現を用いて表現する。	定期考査 課題 小テスト パフォーマンステスト	５月 下旬 ～ ６月 下旬
Lesson 4 「Seeds for the Future」 Lesson 5 「Gaudi and His Messenger」	・複合関係代名詞や完了形の意味や構造を理解し、本文の内容を理解する。 ・身の回りの社会課題に関心を持ち、それについて自分の考えを述べる。 ・分詞構文や知覚動詞の意味を理解する。 ・感銘を受けた歴史的建造物について、ペアやグループで話し合う。 ・歴史的建造物について調べ、適切な英語表現を用いて表す。	定期考査 実力テスト 課題 小テスト パフォーマンステスト	７月 上旬 ～ 10月 上旬

Lesson 6 「Edo: A Sustainable Society」	・使役動詞や助動詞の意味や構造について理解し、本文の要点を捉える。 ・江戸時代に培われた「もったいない」の精神について理解し、それについて自分の考えを述べる。 ・日常生活で無駄遣いをしていることと、その解決策・改善策について考え、英語で伝え合う。	定期考査 課題 小テスト パフォーマンステスト	10 月中旬～11 月中旬
Lesson 7 「Biodiesel Adventure: From Global to Glocal」 Lesson 8「Our Future with AI」	・強調構文や完了形の分詞構文、部分否定の意味や構造を理解し、本文の要点を捉える。 ・文章を通して、「グローカル」について必要な情報を読み取り、要点をまとめる。 ・仮定法や関係代名詞 which の非制限用法の意味や構造を理解し、本文の概要を捉える。 ・ＡＩの進歩について賛成か反対か、自分の考えを理由とともに述べる。 ・ＡＩの進歩によって将来なくなる可能性がある職業について、自分の考えを伝える。	定期考査 実力テスト 課題 小テスト パフォーマンステスト	11 月下旬～３月中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価＋定期考査評価）	５０　％ 程度	２７　％ 程度	２３　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	語彙力が必要です。教科書や教材を漫然と見るだけでは力は伸びません。単語や英文をしっかり声に出して読み、繰り返し練習しましょう。音読練習が話すこと・聞くことに繋がります。また、単語を覚えるときには必ず、音読しながらつづりを書き、覚えましょう。授業内の言語活動には、昨年度に引き続き、前向きに取り組みましょう。パフォーマンステストには、しっかり準備をして、臨んでください。

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	論理・表現Ⅱ	3	2	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard (数研出版)	EARTHRISE Standard ワークブック(数研出版) EARTHRISE 活用ノート(数研出版) Hyper Listening(桐原書店) Data Base　3300 基本英単語・熟語（桐原書店） 総合英語 Harmony（いいずな書店）

学習目標	ドリルを通した文法事項の習熟。教科書で日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開など、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。

評価の観点及びその趣旨	知	英語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
	思	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
	体	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
Part1 Lesson 1 How interesting Japanese culture is! Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan 文法の組み立て方 動詞と時の表し方 助動詞	・制服のメリットとデメリットを考え、ペアで伝え合う。 ・これまでに訪れた場所について、発表できるよう練習する。 ・時制、助動詞の基本形を理解する。	・定期考査 ・課題 ・パフォーマンステスト (自販機について記述する ﾜｰｸﾌﾞｯｸ P. 7)	４ 月 ～ ５ 月 中旬
Part1 Lesson 3 Precious water for all Lesson 4 What has happened recently? 受動態 不定詞 動名詞	・水資源について受動態などを使って考えを伝え合う。 ・受動態の基本形を理解する。 ・不定詞や動名詞、分詞の用法と構造を理解する。	・定期考査 ・課題 ・パフォーマンステスト (海をきれいにする方法を記述する ﾜｰｸﾌﾞｯｸ P. 15)	５ 月 下 旬 ～ ６ 月 下旬

Part2 Lesson 6 Where would you like to live in the future? Lesson 5 I'm into music and movies! Lesson 6 Where do you usually buy clothes? 分詞 関係詞	・都会と田舎のどちらに住みたいかについて、ロイロを使用しクラスで発表する。 ・自分が好きな歌手や俳優、映画などについて、クラスで発表する。 ・自分が欲しいものについて、理由とともに相手に伝える。 ・分詞・関係詞の構造を理解する。	・定期考査 ・課題 ・パフォーマンステスト	7 月上旬～10 月上旬
Part1 Lesson 7 What kind of books do you like best? Lesson 8 Inventions that changed the way we live 比較 仮定法	・比較や仮定法の構造を理解する。 ・紙の本と電子書籍の好みについて書く。 ・我々の生活を大きく変えた発明について、クラスで発表する。	・定期考査 ・課題 ・パフォーマンステスト	10 月中旬～11 月中旬
Part 2 Lesson 7 Which candidate is the right person? Part 2 Lesson 1～5 文法の総復習	・論理構成や英文の繋がりを意識して、スピーチ原稿を書く。 ・1 年で習った文法の復習	・定期考査 ・課題 ・パフォーマンステスト	11 月下旬～３月中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価＋定期考査評価）	５０ ％ 程度	２７ ％ 程度	２３ ％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】
※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	２年生では、１年生のときに学習した内容を再度見ることが多くなります。「復習」を強く意識しましょう。問題に繰り返し取り組み、知識として頭の中で整理し、話すことや書くことに繋げましょう。また、分からないところはそのままにせず、その都度先生や友達に聞いて解決しましょう。英語は積み重ねが大切です。小テストは満点を目指しましょう！

※パフォーマンステストのテーマは適宜変更あり

※副教材の扱い

・昨年度使用したオレンジのファイル：授業プリントを保存していきます！

・総合英語 Harmony（いいずな書店）授業内や家庭学習で使用。

・EARTHRISE Standard ワークブック(数研出版)　考査前課題およびＰテストで使用。

・EARTHRISE 活用ノート(数研出版）授業内で使用

・Hyper Listening(桐原書店)　週に１度：学校保管！

・Data Base　3300 基本英単語・熟語（桐原書店）　小テスト週に２度　範囲は別途指示します

愛知県立大府東高等学校

令和６年度　科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
家庭	家庭基礎	２	２	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
Survive!!　高等学校家庭基礎（教育図書）	Survive!!　高等学校家庭基礎ワークノート（教育図書） 2024 生活学 Navi　資料＋成分表（実教出版）

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	知	生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けている。
	思	生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
	体	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
オリエンテーション 「家庭基礎」の学習を始める 今の自分を見つめ，知る これからの人生を思い描いてみる	家庭基礎の学習内容を概観し，学習の見通しを持つ。今の自分を見つめ，なりたい自分について考える。 キャラクターのライフコースを参考に，自分のこれからのライフコースについて思い描き，なりたい自分に近づく方法について考える。	ワークシート ノート 実習課題	４月
１章　消費生活・環境 ・成年年齢の引き下げ ・契約と消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・消費者の意思決定 ・生活費と家計 ・将来の経済計画	成年（大人）と未成年の違いについて理解し，大人への準備期間をどう過ごすかを考える。 消費者トラブルと，消費者保護の仕組みについて理解する。 さまざまな決済方法について知り，それぞれのメリット・デメリットや自分に合った利用方法について考える。 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	５月
２章　衣生活 ・人と衣服 ・衣服計画・衣服の表示 ・衣服素材の性能と着心地 ・衣服の構成	人間の生活と衣服のかかわり，衣服のおもな機能について理解する。 衣服の表示について理解し，日常生活の中での活用について考える。 衣服の素材の種類や特徴について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	５月～ 12 月

・衣服の手入れ・管理 ・これからの衣生活	衣服の手入れや管理の必要性やその方法について，科学的に理解する。		
3章　食生活 ・人と食生活 ・食品と栄養素 ・食品の選択・保存 ・献立作成 ・調理の基礎	食事と健康とのかかわりや，人の一生における食事の役割について理解する。 栄養素の種類や機能，おもな食品の特徴について理解する。 食品の衛生と安全について理解する。 持続可能な食生活，安全で健康な食生活について考える。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	5月～ 1月
第8章　青年期・家族 ・青年期を生きる ・現代の家族 ・家庭生活の成り立ち ・家族と法律	人の一生を生涯発達の視点で捉え，　生涯を見通し，青年期をどのように生きるか考える。 家族と社会のかかわりや，現代の家族・家庭の特徴について理解する。 家庭生活を支える基本的な法律について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	6月
ホームプロジェクト	生活の課題を見つけ，その改善方法を考え，実践する。 実践したことをまとめ，発表する。	レポート 発表	7月～ 9月
第6章　高齢期の生活 ・高齢期を理解する ・高齢者の生活を支える仕組 ・地域で支える高齢社会	人生の一時期として高齢期を捉え，自分の将来像としての高齢期について考える。 高齢者を取り巻く社会の課題について理解する。 高齢期の心身の特徴について理解する。 高齢者を支える地域の役割について考える。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	10月
第7章　共生社会 ・ともに生き，支え合う社会	共生社会の実現のために，社会の一員として何ができるかを考え，工夫する。	ノート 定期考査	11月
第4章　住生活 ・人と住まい ・ライフスタイルと住まい ・安全で衛生的な住まい ・これからの住生活	人と住まいとのかかわりや，住まいのおもな機能について理解する。 安全で快適な住まいの条件について科学的に理解する。 日本の住宅事情や課題を理解し，持続可能な住まい方の工夫について考える。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	1月
第5章　子どもの保育 ・子どもの発達 ・子どもの遊び ・子どもの生活・大人の役割 ・子育て環境，子育て支援	子どもの心身の発達の特徴について理解する。 子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 社会全体で子育てを支援し，子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 子どもの権利や福祉について理解する。	ワークシート ノート 実習課題 定期考査	2月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	５０　％ 程度	３０　％ 程度	２０　％ 程度

※「観点別学習状況評価」・・・３段階評価（A/B/C）【１学期末、２学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・５段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	知識や技術を身につけるとともに、周囲の人と意見を出し合い、気持ちを共有することが大切です。学習を通して、生活にかかわるさまざまなつながりを再認識し、他者とかかわりながら、主体的に生活を創造していけるようになることを目指しましょう。